

競 技 上 の 注 意

北海道社会人卓球選手権大会
北海道卓球選手権大会（マスターズの部サーティ）
審判長 森 美香子

現行の日本卓球ルールを適用して実施する。

1. ルールの概要

- ・ 11本5ゲームマッチで行う。
- ・ ゲーム開始後10分経過した場合は促進ルールを適用する。但し、双方のポイント合計が18（9-9、10-8）以上に達した場合は適用されない。
- ・ ゲーム間の休憩時間は1分以内。
- ・ タオルの使用は、6ポイント毎と最終ゲームのエンド交換時のみ。
- ・ サービスは、開始から打球までボールをレシーバーから隠してはならない。また、審判員が正規のサービスであることを確信できるよう行うことは、競技者の責任である。
- ・ 一振りの動作で明らかに2度打球した場合を除き、ほぼ同時に2本の指や指とラケットに当たった場合はダブルヒットとは判定しない。
- ・ ポイントが決定した後は、速やかに次のサービスあるいはレシーブの体勢をとり、競技時間の遅延を避けること。

2. ボール、ラバー、ラケットについて

- ・ ラバーは、ラケット本体よりも大きかったり小さかったりしないこと。公認マーク・メーカー商標・ロゴ等はグリップに最も近い場所にはっきり見えるように貼らなければならない。
- ・ ゲーム中にラケットを破損した場合は、スペアラケットか競技領域内で手渡されたもので直ちにプレーを再開すること。
- ・ ラケットはJTAA、ラバーはJTAAまたはITTFの公認マークがないものを使用する場合は、予め審判長の許可を受けること。
- ・ 試合中のインターバルでは、ラケットはテーブルの上に置くこと。
- ・ 公認の接着剤、シート以外の使用は認められない。試合終了後のラケット検査において不正が判明した場合はその試合は負けとなり、試合前の検査で判明した場合は別のラケットで試合すること。
- ・ ラバーの張替えは、決められた場所で行うこと。

3. 競技の服装

- ・ ゼッケンは2022年度（公財）日本卓球協会指定のものを使用すること。
- ・ 競技服装は、JTAA公認マークのあるものを着用すること。
- ・ ダブルスのペアは、靴及び靴下を除き同じ服装であること。
- ・ ヘアバンド・リストバンド・スパッツは着用できるが、（公財）日本卓球協会指定業者以外のマークが見えることは認められない。
- ・ 肘、膝より長いアンダーウェアは着用できない。但し容認するに足る事由がある者は予め審判長に申し出て判断を仰ぐこと。

4. アドバイスは、ラリー中を除いていつでも受けることができる。

5. 準々決勝からはタイムアウト制が適用となる。

6. 全種目とも敗者（リーグは相互）審判とする。但し、準々決勝からは審判員を配置する。